

多摩地域ユース・プラザ（第3期）運営等事業 提案概要

提案の特色

「みらいにもっとわくわくを一わくわくするなかまとともに」を事業のキー・コンセプトとし、『地域に根付いた生活インフラ事業グループ』と『社会教育事業のパイオニア』である2者の総合力を活かし、多摩エリアから多様な『なかま』を呼び込む、地域連携による社会教育拠点の形成」を目指す。本事業の実施方針と事業計画のポイントは下記のとおり。

方針1 運営体制の方針

- ・第2期事業者であるメリットを最大限活用し、第3期運営業務をスムーズに開始
- ・代表企業と運営担当3企業との明確な役割分担と連携・協力により、利用者のニーズに柔軟に応えながら、新たな施策を継続的に展開する体制を構築

方針2 運営業務の実施方針

- ・デジタルツールの活用により、施設利用率や利便性の向上に取り組む。また継続利用しやすい料金体系の設定により、子供・若者の体験と学び獲得の機会向上に努める
- ・子供・若者の自主性を尊重し、施設が寄り添う姿勢で子供・若者をサポートしながら、自己効力感や社会への参加意識を得られる機会を提供
- ・多種多様な活動支援プログラムは選択しやすい環境を整備し、利便性向上および体験価値の深度化につなげる
- ・コンソーシアム全体のアセットやネットワークを最大限活用した営業により、施設の認知度向上や利用促進を図る
- ・ニーズや改善点の継続的な把握により、サービス向上と施設価値の向上を追求

方針3 維持管理業務の実施方針

- ・コンソーシアム全企業で綿密に情報共有を図り、スムーズな工事体制の確立やきめ細かな対応、品質の確保に努める
- ・20年培った経験を活かし、建物の状態や使用状況、周辺環境等を踏まえた適切な経常修繕の実施により、施設への影響を最小限に抑えながら、常に利用者に快適な環境を提供
- ・必要な改修・修繕工事の計画的な実施によって施設の「長寿命化」を図り、利用者に安心・安全な環境での体験を提供

方針 4 民間提案事業の実施方針

- ・ 少人数グループや個人・家族連れの利用者にも楽しさ・学び・気づきを得られる文化・スポーツ教室プログラムを提供。事業を通じて施設のブランド力を強化するとともに、親子や他の参加者との交流を促し、子供・若者のコミュニケーション能力や協調性等の社会的スキル向上にも貢献
- ・ 子供・若者の自発的活動を支援し、将来の社会の担い手として成長するための指導機会や活動発表の機会を提供
- ・ 地域の大学・企業等との連携強化を狙い、事業活動を推進できる場所を積極的に提供し、イノベーション拠点を誘致する。実績づくりを通じて、社会的な取組を生み出す場所としてのブランディングを図る
- ・ 施設全体を活用してアート作品の展示・販売を行い、施設のデザイン性強化のみならず、利用者の新しい来訪動機の創出につなげる

以上